

湘南工科大学 松稜会だより



辻堂駅北口広場

TOPICS

NO.43

編集・発行 湘南工科大学同窓会

〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25

湘南工科大学内

TEL・FAX 0466-35-0588

URL: <http://www.sit-dousou.com/>

E-mail: s.dousou@isis.ocn.ne.jp

Facebook はじめました！



松稜会

学長・後援会会長・松稜会会長ご挨拶	2 p
大学・附属高校トピックス	3 p
卒業生のイベント・鳥人間コンテスト・実行委員会等から	4、5 p
方針作成部会活動実績報告	6 p
平成31年度定期総会議事録	7 p
松稜会活動計画・理事紹介など	8 p

令和2年度 湘南工科大学松稜会定期総会開催について

- 日 時：平令和元年11月3日(日)11時から
- 場 所：湘南工科大学 教育研究総合センター A103
- 議 題：令和元年度会計報告、令和2年度予算、事業計画など

総会終了後、カフェレストランシーサイド(大学敷地内)で懇親会を予定しております。是非ご参加下さい。

松稜会の皆様へ

湘南工科大学
学長 渡辺 重佳



本学は一昨年度から、入学希望者が増加し、教育の質を確保するために合格者数の調整に苦勞するようになりました。「社会に貢献する技術者の育成」を目標とするアクティブラーニングに注力した6年前からの教育改革の成果が実を結びつつあります。教育改革により在学学生は授業への出席率や成績(GPA)が向上するだけでなく、離学者数も従来に比較して大幅に減少しています。また堅調な財務や糸山総長からの私財のご寄付などにより、各種施設や学生の福利厚生が大幅に改善しています。今後、松稜会の皆様のお力をお借りして、各種設備の充実や更なる就職率の向上等を推進したいと考えております。

私は今年の4月に学長に就任して以来、この成果をあげつつある教育改革を今後も強力に推進する決意ですので、松稜会の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

次世代へ繋がる大学となるために

湘南工科大学 後援会
会長 遠藤 高行



松稜会会員の皆様には、湘南工科大学ならびに在学学生に対し平素より多大なお力添えを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今、本学は、6年前より「社会に貢献する技術者の育成」をミッションに様々な教育改革を実施し、卒業生数の大幅増加、就職率の向上、ひいては志願者数の増加等の成果をあげております。また学内においても快適で充実した環境が整い、キャンパスの雰囲気も明るくなる等、その効果を様々なところで実感しております。大学では今後も教育改革をブラッシュアップしながら継続していくとのことです。

そのような中で、私たち後援会は、未来を担う学生がより充実した大学生活が送れるよう物心両面の支援を行うとともに、同窓生の皆様から受け継いできたこの大学がさらに飛躍し次世代に繋がる大学となるよう、大学や学生と様々な局面で連携し努力して参ります。

引き続き松稜会の皆様と情報交換等を通じて、なお一層のご指導と在学学生へのご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、松稜会のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

「大学・後援会・同窓会」三位一体で湘南工科大学を発展させよう

湘南工科大学 松稜会
会長 池田 英治



今年は、「平成」から「令和」になりお祝いムードのなか、「台風」等自然災害の発生その他、社会情勢も混沌としています。

また、10月1日から「消費税」の増税になり、今後の景気がどうなるか不安です。大学においては、今年度の新入生の入学者数が定員一杯の状況で就職状況も好調のようです。

松稜会として、大学と協力して在校生の「就職活動」を支援して行きたいと考えております。これまで大学や後援会と共に盛り上げてきた産学の連携の流れを、後援会と共に力を合わせて、より大きく、卒業生の輪が在校生へも届くよう努力していきたいと思っております。

今年は松稜会の役員の改選の年となり、新しい役員の方々に今までとは違った意見を頂き、イベントの企画・実施を実現させる事の出来る組織にステップアップ出来るよう頑張ります。

そのためにも、今まで以上に「大学」、「後援会」のお力をお借りして三位一体となって、これからも「地域社会に貢献できる人材を育成し就職に強い」湘南工科大学であるために若い技術者の育成を支援していきたいと思っております。

大学

情報工学科の梅澤准教授がCYBER 2018で最優秀論文賞を受賞



2018年11月18日～22日、ギリシャ・アテネで開催された国際会議「The Third International Conference on Cyber-Technologies and Cyber-Systems (CYBER 2018)」において、本学情報工学科の梅澤克之准教授がBest Paper Awardを受賞しました。主催は、International Academy Research and Industry Association (IARIA)。

梅澤准教授の受賞テーマは「Threat Analysis using Vulnerability Databases - Matching Attack Cases to Vulnerability Database by Topic Model Analysis -」。

これは、重要インフラを支える制御情報システムや自動車、産業用ロボットなどのIoTシステムに対するサイバー攻撃が増加している中で、脆弱性事例データベースとシステム設計情報を活用した脅威分析方法に関する研究です。

2015年と2017年にクライスラーとテスラの自動運転車へサイバー攻撃によって事故を起こすことができるという実験が行われました。梅澤准教授らは、この実験に対して改めてMITRE社の脆弱性データベースCVEとAI手法の一つである潜在的ディリクレ配分法LDAという技術を適用して、2つの事故間に共起性を生じさせる内部メカニズムを計算機によって導くことに成功しました。

同手法によって、毎年1万件以上追加される大量のCVE脆弱性情報をAIで効率よく参照しながら、機械内部のメカニズムレベルでの事故の類似性を精度よく発見できる道筋が一つできたと考えられ、今後ますます増加するであろう攻撃に対して、膨大な数の攻撃手法をトピックモデルで計算機処理する同提案の意義は大きいと評されています。

駅伝競走部の齋藤さんが市選手権で2冠に輝きました



2019年7月27日(土曜日)・28日(日曜日)、横須賀市の不入斗公園陸上競技場で開催された「第69回藤沢市陸上競技選手権大会」の一般部の800mと1500mにおいて、本学駅伝競走

部の齋藤元選手(人間環境学科2年)が優勝しました。主催は、藤沢市陸上競技協会。

同大会は、藤沢市内に在住または在勤、在学で同市陸上競技協会に登録している選手が出場できるもので、一般の部男子800mと1500mに出場した齋藤選手は、初日の800mを2分3秒37で優勝すると、翌日、1500mにおいても4分8秒86で大会を制し、2冠に輝きました。

湯浅准教授の研究が読売新聞「研究最前線」で紹介されました

2019年10月17日(木曜日)、本学コンピュータ応用学科の湯浅将英准教授の研究が、読売新聞「研究最前線」に掲載されました。

湯浅准教授は、コンピュータグラフィックスで描かれたキャラクターを使用し、対人とのコミュニケーションを養うシステムを研究しており、昨年から認知症患者とのコミュニケーション上のトラブルやストレスの対処法を学ぶシステムも開発しています。

記事内では、研究内容をはじめ今後の展望、また、本学の学科の枠を越えて発展的に学ぶことができる授業「学科横断型学修プログラム」を支える研究センターの活動についても紹介されました。

附属高校

野球部が神奈川県秋ベスト8

9月初旬から始まりました平成30年度神奈川県高校野球秋季県大会において、本校野球部が9月19日(水)に行われた試合に勝利し、4回戦を突破しました。

創部58年以来初の秋ベスト8入りを果たしました。

■国際大会で準優勝

パラ卓球のコパ・タンゴが11月30日から12月2日にかけてアルゼンチンのブエノスアイレスで開催されました。本校卒業生の辻村琢光さん(2017年度生)が23歳以下男子シングルスで準優勝に輝きました。

オーストラリアの高校生が来校しました



Corpus Christi Catholic High School の皆さんが2年ぶりに来校されました。

海外語学研修の交流校であるCorpus Christi Catholic High School より14名の生徒の皆さんが、授業の一環として日本を観光し、帰国前の10月3日に本校に来校しました。滞在中は、バディーのサポートを受けて日本語による授業に参加したり、校内見学やランチも一緒にとったりしました。これからも交流を深められる様にお互いの関係を楽しんでいます。

●アジア大会銅メダル獲得:

小堀 優加さん(3年生)

長谷部校長先生、小堀優加さん(3年)、三好先生(水泳部顧問)

2018年8月19日、ジャカルタ・アジア大会第2日

が行われ、東京五輪新種目となる女子1500メートル自由形決勝で本校水泳部の小堀優加さん(3年)が3位に入り銅メダルを獲得しました。

今大会の競泳日本チームでは先陣を切った初メダル獲得です。

メダルを狙って挑んだ1500メートルのレースでは、国際大会で初の表彰台となりました。



●男子ハンドボール部

(大学20期卒業鈴木達男さんの附属高校在学時同級生が監督をされています。ご子息などが附属高校にご入学された際には入部のご検討をお願いします。)



自律した選手を目指し、全力で取り組み、努力が出来る人間に成長する!

全国大会出場・優勝を目指して練習しています。初心者も入部しているので、頑張る気持ちを持っている人は大歓迎です。

部員数	38人
活動日・時間	週6日(休みは試合翌日か日曜日)、3~4時間
活動場所	高校グラウンド、高校・大学体育館
顧問	吉岡寛之(体育科)、菊地琢馬(情報科)

本校ハンドボール部は1973年創部。

平成13年度から体育コースをスタートし、平成15年度・17年度には全国選抜大会に出場しベスト8。

平成10年に関東大会初出場。以降15回の関東大会出場(ベスト8が3回)を果たした。

平成29年には関東大会県予選において初優勝。部のモットーは、「自律した選手を目指し、何事に関しても全力で取り組み、努力が出来る人間に成長する事」として、日々練習に励んでいます。

未経験者でも、ハンドボールに興味があり頑張りたいと思ったら、是非練習を見学に来て、体験して下さい。待っています!!

平成29年度関東高等学校ハンドボール大会県予選 優勝
平成17年度全国高等学校ハンドボール選抜大会 ベスト8
平成17年度関東高等学校ハンドボール選抜大会 第7位
平成15年度関東高等学校ハンドボール選抜大会 第7位

※本ページの記事につきましては大学、附属高校のHPより抜粋して掲載しております。
掲載記事の詳しい情報や、その他のトピックスは各HPをご覧ください。

アルビオンOB会開催!

同窓生の皆さま、こんにちは! 23期の岩崎順哉と申します。我々23期は1989年(平成元年)相模工業大学の卒業生として巣立ちました。卒業から30年、時代も平成から令和へと変わり母校を訪れるたびに校舎やキャンパス、ICT環境の整備が進み目覚ましい発展に感激しております。今回は我々が所属したサークルの同窓生が集い運営しております「アルビオンOB会」の近況をご報告申し上げます。

「SITテニスサークル アルビオン」は1985年に発足し2003年までの約18年間、テニス、スキー、マリンスポーツ等ジャンルを問わないスポーツ系サークルとして活動を行ないました。最盛期には100名以上の会員数を誇り、輩出しました同窓生は累計500名を超えております。しかしながら時代の変遷とともにサークル文化は衰退し、現在はスポーツサークルとしての活動を休止し卒業生交流の場として「アルビオンOB会」を発足させ技術交流、就職・転職相談、独立・起業支援(+飲み会)の活動を行っております。

なお、本会は会員総会を兼ねました一泊旅行を毎年10月末に開催しております。2015年に実施されました「アルビオン創立30周年記念OB会」には総勢50名のOBが集合し盛大な宴となりました。また昨年は久々に女性陣の参加もあり学生時代によく利用した思い出のキャンプ場にて開催し、キャンプとBBQの催しに学生時代にタイムスリップしたような一夜を過ごしました。



アルビオン創立30周年記念OB会
(2015)



2018アルビオンOB会
(アメリカキャンプ村)

このほか、アルビオン OB 会に関する情報は松稜会(湘南工科大学 同窓会)公式ホームページにも掲載されておりますので、合わせてご一読賜いましたら幸いです。

<http://www.sit-dousou.com/ob/alvion/alvion.html>

また、一時期でもアルビオンの活動にご参加された皆さまは会員資格を有しておりますので、是非ご参加ください。

〒253-0082

神奈川県茅ヶ崎市香川16丁目16番6号 アルビオン湘南201

SITテニスサークル アルビオンOB会 事務局

ご連絡は郵送もしくは電子メール jk-iwa@ae.auone-net.jp にて
各世代担当者:岩崎、萩原、水谷、滝沢まで

フォークソング部OB会

松稜会のみなさま、こんにちは。機械工学科21期の加藤誠司と申します。

大学卒業後は年代の近いメンバー数名で飲む機会がありましたがフォークソング部OB会として幅広い年代で集うことは今までありませんでした。このOB会が企画されたきっかけは、現役時代にお世話になった先輩と一緒に音楽活動に励んでいた同期が他界するという残念な出来事が続いたことでした。「ここで会っておかねばいつ会えるかわからない」という想いでメンバー集めを開始しました。苦労したのは皆へ連絡をとること。年賀状や20年以上前に発行された同窓会会員名簿、メンバー間のクチコミネットワークを頼りに59名と連絡をとることができました。

OB会会場は母校を望む江ノ島の老舗旅館岩本楼。参加者は1977~1987年入学の32名。当日は好天に恵まれましたが、千葉県に甚大な被害をもたらした台風15号上陸前日の9月7日より1泊2日で行われました。台風の被害に合われた同窓会会員の皆様にはお見舞い申し上げます。

現役時代は4年間の世代でしか交流がありません。今回は10年間の世代が集い、初めて顔を合わせるOBも多数いました。一次会はステージ付の大広間で2時間半。緊張ぎみに開宴しましたが、当時の話に花が咲き、弾き語りでの演奏が開始されると年代の差は吹き飛び、音楽という共通語で学生時代のように盛り上がりました。宴席の最後には代々フォークソング部で部員全員のシングアウトとして受け継がれてきた「青春の歌」を大合唱。ハモリまで再現されました。最後の締め

の挨拶は1977年入学の原正さん。ここに同じ時間を久しびりに共有できたことの喜びと次回の再会を祈念して宴席が開きとなりました。

一次会の後は部屋での二次会が朝まで続き、合宿のようでした。楽しい時間はあっという間に終わり、翌朝は江ノ島から母校を眺めながら鮓の開きを皆で食し、また明日からの日常へ向けてそれぞれ帰路につきました。

今回はフォークソング部創部世代から現役世代まで漏れなく声かけしたいと思っております。そのためには松稜会活動が活発となり、同窓会行事へ参画する同窓会会員相互の交流が重要です。この記事を読んでいただいたフォークソング部や軽音楽部、音楽研究部OBの皆様、これを機会に継続的にOB会をなるべく大勢で企画したいと考えています。現在の連絡先を同窓会事務局経由にて是非連絡をお願いします。次回は一緒に盛り上がりましょう。



参加者全員でシングアウト ハモリもバッチリ!



E19 大橋光晴さん
卒業後も継続して
LIVE活動中!

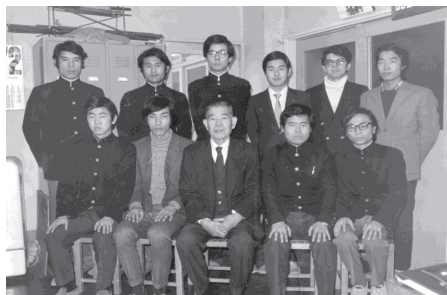
機械工学科21期
加藤 誠司

藤原研究室有志で恩師の墓参り旅

皆さん、今から50年近く前になりますが、湘南工大(当時は相模工大)に藤原教授と言う先生が在籍され学生を指導されていました。今の湘南工大の先生方は若くそして権威のある方が多いですが、その時代は有名企業を退職、あるいは有名大学を定年退職された先生方が我々を指導。当然、年配の先生方でした。指導は厳しく、時に優しく、楽しい時代でした。我々10人は4年次の卒業研究に藤原研の門をたたき1年間指導を受けました。

藤原武夫先生は明治43年3月広島県加茂尋常小学校を卒業、大正4年広島高等師範入学、8年卒業し4月同校教諭。大正10年4月に京都帝大理学部入学、13年卒業、大学院へ。14年に東芝に入社し研究所勤務。X線の研究で昭和5年から2年、イギリス、ドイツ、イタリアで研究に従事。昭和5年京都大学で学位授与され、8年東芝退社し広島大学教授。昭和20年8月6日の原爆投下で大学内の研究室は灰。昭和36年広島大学を定年退官、翌年開催予定の格子欠陥国際会議委員長で、広島と東京を頻繁に往復。その為、神奈川県に住まいを移動、防衛大教授に。昭和43年退官し、70歳を過ぎ当時の相模工大教授となった。

先生は我々10人を厳しく、優しく指導、時にはホテルのランチや観音崎のリゾートホテルへ招待して頂き、これから社会



S47年藤原研究室の10人と藤原武夫先生



にでる22歳の若者がどうあるべきかのヒントを与えてくれました。

卒業して50年近く、我々も当時の先生の歳近く。**“そうだ先生のお墓参りしよう”**と。有志4人で昨年5月末新幹線で福山行を計画。しかし先生の眠る場所は?情報は先生は加茂村の出身のみだ。福山加茂支所に連絡、先生の生家近く先生眠る、大林寺がありました。今回加茂小学校、先生が副学長を務めた福山大学、そして加茂支所に連絡してやっと判明です。

5月27日新横浜から新幹線で出発。先生の故郷福山駅に到着した。レンタカーで加茂村へ。この地域

は“井伏鱒二”、“藤原武夫”のお二人が有名人。1時間で大林寺着。本堂近くに先生の眠るお墓が。一同合掌して、“ハトサブレ”を墓前に。(先生はよく鎌倉の銘菓ハトサブレを我々に差入。)**“先生、10人は第一線をリタイアし元気です。お世話になりました。”**これで第一目的達成しました。

これから観光部門です。午後は旧軍港の呉、大和ミュージアムへ。夕食はお好み焼を食べ、広島市内のホテル泊。翌28日は早朝発でしまなみ海道から道後温泉へ。観潮船でうず潮も。29日は電車で宮島へ。広島市内の原爆ドームで平和祈願。原爆投下後、藤原先生は爆心地近くに入り、大学の再建に取り組んだと聞いています。我々はその素晴らしい藤原先生に昭和46年4月から1年間指導を受け10人の仲間は一線をリタイア。先生、10人は今までいろいろな人生でしたが、1年間の指導で社会に飛び出す準備を頂きました。有志の4人は今回の素晴らしい旅に感謝して、17時広島発新幹線で帰京しました。

機械工学科 昭和47年
藤森 健次

第55回松稜祭実行委員会 委員長 木村 光寿

今年のテーマは「Believe our Future」です。これからの松稜祭をはじめ、地域の皆様や本学の学生の未来がよりよいものになるようにという思いを込めて名付けました。

松稜会、後援会、企業の皆様からのご支援も生かし、活気のある学園祭となるよう準備をしています。

松稜祭実行委員一同、皆様のご来場をお待ちしております。



松稜会女子部会 会合報告

恒例の第四回女子部会を真夏の9月7日に関内のイタリアン・レストランで開催しました。今回はお子様の参加もあり、総勢29人の大盛況でした。久しぶりに会う同級生や先輩・後輩とおしゃべりしながらの楽しいランチを楽しみました。

これからもOB・OGと共に力を合わせて、松稜会のお手伝いが出来るよう頑張りたいと思います。令和二年度も9月第1土曜日に開催予定で準備中です。皆さんに、またお会い出来るのを楽しみにしています!



鳥人会2019 湘南工科大学 鳥人間コンテスト 2019 へ出場

鳥人会顧問 稲毛 達朗

湘南工科大学が7年ぶりに鳥人間コンテストに出場いたしました。競技は動力を持たない滑空部門です。湘南工科大学の伝統機体である先尾翼機を学生が製作し、大会へ臨みました。しかしながら、無念の飛行できない結果となってしまいました。この鳥人間コンテストという大会は、予選が無く書類審査が最大の難関として知られています。機体の図面や試験飛行などで得られた機体の性能を有識者たちが細かく審査し、合格をもらった機体のみが飛行する権利を得られます。本校はこの書類審査に7年間悩まされ続けました。そこで、今年度の部員たちは学内および学外からアドバイスを得て強度不足といわれた機体を改善して、大会出場を掴み取ることができました。出場権利を得た日から、機体の完成に向けた厳しい活動が始まりました。「大会に出られません。」という逃げ道のない活動は学生にとって重圧だったと思います。しかし関係者各位の温かいご声援のおかげで顧問の私だけでなく部員全員が大会に向けた覚悟を決めることができ、やるべきことを終え琵琶湖へ出発できました。そして、7/26(金)には機体の検査を受けるために組み立てを行い、その後、最終検査を通過しました。ただし、その時点では台風が発生しており、7/27(土)に琵琶湖を通過していく予報となっておりました。台風に加え、検査を無事に通過した機体を一度分解し、各部品をテントへ避難させました。不安の中、学生たちは交代で見張りをし、一晩



試験飛行のため、朝4時より機体の組み立て(附属高校グラウンドにて)

を明かしました。天気予報通り台風が直撃するとのことで、大会初日に、台風が通過する前に滑空させようと大会日程が早められ、限られた時間の中で再度機体を組み立て滑空の準備を整えました。そして、湘南工科大学の滑空となった時



台風が近づく中での滑空準備



大会中止後、パイロットからの一言

間に台風がやってきました。滑空準備は整っていたのですが、風況が悪く滑空許可が中々下りない状況でした。学生たちは風速が15mもの強風と横殴りの雨の中、滑空するプラットフォーム上で40分間も機体を支え続けました。学生たちは、大人びた頼もしい顔つきで台風と戦い続けておりました。そして、想定されていない機体の真横からの強風に機体が煽られてしまい主翼が大きく破損し、飛ぶ前に飛行を断念せざるを得なくなりました。大会初日は中止という運営の判断が出た通り、非常に厳しい環境でした。しかしながら、学生たちは決して折れることなく現在も鋭意活動中です。大会参加を経て、学生たちは精神的にも技術的にも大きく成長しており、再挑戦を心に決めて文字通り必死に先尾翼機を開発しております。鳥人間コンテストは、部員のみでの活動では参加することが難しい大会です。関係者各位の多大なる助言、声援、支援によって参加が可能となる大会であり、部員一同は期待に応えるべく活動をしていく必要があります。来年度は、今大会の経験によりレベルアップした鳥人会に是非ご期待ください。



大会中止後の全体集合写真

学生表彰

今年は機械工学科の前田優さんにお送りさせていただきました。卒業記念パーティーでは受賞者にも会えるかもしれません。ぜひ、大きく羽ばたかれる若人にねぎらいの言葉をかけてあげてください。



学生表彰
機械工学科 前田 優さん

卒業記念パーティーに参加しましょう

毎年執り行われる学位記授与式、卒業式ですが、ご自身の時以外にご参加されてことはありますでしょうか？お子様が松稜生となられた方は参列されたこともあるかと思いますが、ほとんどの方が他の世代の方々の卒業式には参列されていないと思います。編集者であるわたくしは、ここ何年かお邪魔しています。毎年これから希望に満ちた大海に旅立られる皆さんの晴れやかな顔を拝見し、心が清められ心新たに自身の仕事でも初心に戻れる数少ないイベントになっています。卒業式には席数の都合上参加できないと思いますので、ぜひ15:00ごろから開催される「卒業記念パーティー」にご出席ください。総会でも報告のとおり、松稜会で支援していることも



湘南工科大学



ありますし、同窓会(松稜会)の専用の席も用意していただいています。会長の乾杯!でスタートして美味しい料理も用意されています。日程は松稜会ホームページで告知しますのでご参加よろしくお願いたします。

松稜会理事 おすすめ

レストラン シーサイド

大学周辺のおすすめ店ですが今回は編集者が紹介いたします。
松稜会生ならだれでも思い出のあるレストラン旧名「サニー」現在は「シーサイド」のご紹介です。

この度、店舗前の駐車場を改装しテラス席が設置されました。洗練された海辺のテラスのような明るい出来となり、晴れの日にはすがすがしい時間を過ごせる場所となっています。
毎年総会後にシーサイドにて懇親会を開いていますが、ここへ来ると昔食べた「あんかけ焼きそば」を思い出し懐かしく感じます。



名前もメニューも当時と変わっているかもしれませんが名物のあんかけ焼きそばは今も健在です！
近頃は2枚のカツがボリュームーな限定20食のビックチキンカツ定食や出汁が効いたアゴだし醤油ラーメンもオススメです。学生や

教職員、地域の皆様にも愛されるレストランシーサイド、皆様もご来学の際にはお立ち寄りください。最後になりますが、在学生には「0円朝食」も継続実施中です！



平成31年度 湘南工科大学同窓会 定期総会議事録

開催日：平成30年11月4日（日）11:00～12:20
会場：糸山英太郎記念教育研究センター A103

■配布資料

- ①平成31年度 湘南工科大学同窓会 定期総会次第
- ②平成30年度 理事会・評議員会実施内容
- ③平成30年度 会計報告
- ④平成31年度 予算(案)
- ⑤2019年 湘南工科大学大学案内(冊子)

【1】大学 松本学長からのお話

最近の大学事情として、2013年から始めた教育改革がさまざまな面で実を結び始めています。5年前に比べ退学者数が半分に、志願者数は増加しており、学生の質が向上して、この教育改革により学生の表情が非常に明るくなってきました。一番感じたのは入学式でご両親とご子息が校門の前で「湘南工科大学 入学式 式場」等の看板をバックに記念写真を撮影しており、何十人も並んでいました。滑り止めではなく、入りたくて入学してきたことの表れであり、感激的な光景を見ることができました。ますます本学は価値を上げ、日本の社会に貢献する工学を根底から支える技術者を創生していく覚悟を改めて思いました。

これからさまざま入試が行われていきますが、これからは人数を制限していくことを考えており、教育の質を担保するために560人が限度としていきたいと思っています。

ますます、これから良い大学へ発展するよう努力してまいります。

同窓会の皆様にも変わらず、ご支援を頂けますようお願いいたします。

【2】開会の辞 池田 勇

【3】会長挨拶 池田 英治

【4】議長団選出 議長：高明 正治

書記：木村 広幸

【5】議事

1. 報告事項

- (1) 湘南工科大学評議員報告 報告者：新井 和吉欠席のため池田 英治
- (2) 平成30年度事業報告
- (3) 平成30年度会計報告 報告者：土肥 義和
- (4) 平成30年度会計監査報告 報告者：三富 久永
※会計報告および監査報告に関しては、質疑は無く了承された。

2. 協議事項

- (1) 大学同窓会規約改正について 説明者：池田 英治
- (2) 平成31年度事業計画(案) 説明者：水島 崇裕
- (3) 平成31年度予算(案) 説明者：水島 崇裕
- (4) その他 回答者：土肥 義和

【6】議長団解任

【7】閉会の辞 池田 勇

【懇親会】カフェレストラン シーサイド

令和元年度「松稜会」活動計画

11月	総会・松稜祭・総会情報HP更新・会員募集活動・支部情報交換会・方針作成部会	5月	支部情報交換会・会誌編集部会・方針作成部会
12月	後援会交流会・女性部会・方針作成部会	6月	OBOG就業意識講義・理事会
1月	学内OB訪問・方針作成部会	7月	OBOG就業意識講義・後援会交流会・会誌編集部会・方針作成部会
2月	大学執行部交流会・後援会交流会・方針作成部会	8月	大学執行部交流会・理事会・女性部会
3月	卒業式・卒業パーティー・卒業生表彰・会員募集活動	9月	会計締め・方針作成部会
4月	入学式・会員募集活動・卒業入学情報HP更新・女性部会・方針作成部会	10月	理事会・松稜会だより発行・方針作成部会

理事紹介				監事	
会長 池田 英治 (9期)		理事 深井 和也 (13期) 土肥 義和 (25期) 内田 翼 (42期) 神尾 泰光 (17期) 志村 年一 (27期) 坪田 亮介 (43期) 有坂 知則 (21期) 滝澤 雅 (32期) 佐藤 洋輝 (44期) 岩崎 順哉 (23期) 高橋 泰久 (35期) 大塚 純一 (24期) 泉 寛之 (35期)		穴倉 光夫 (10期) 三富 久永 (27期)	
副会長 山ノ井 克行 (10期) 南坂 光男 (19期)				顧問 平綿 勝彦 (2期) 新井 和吉 (3期)	

卒業生子女等の入学金・授業料の減額制度

平成24年度入学者から、本学卒業生の子女、卒業生・在学生の兄弟姉妹に対して修学上の便宜を図るため、入学金と授業料の減免制度を設けています。みなさまのご家族が本学へ進学される際には是非お役立てください。

優遇制度の内容

対象者	・卒業生の子女 ・卒業生の兄弟姉妹 ・在学生の兄弟姉妹
特典1	対象者が本学に入学し、学資負担者から申請があった場合、入学金20万円のうち、10万円を減額します。
特典2	年間授業料から10万円（4年間適用）を減額します。

1. 手続きは入学後、事務課へご相談ください。
2. ほかの減免制度の適用がある場合は、本制度の適用期間が変更になる場合があります。

入試日程 <https://www.shonan-it.ac.jp/examination/faculty/admission-schedule/>

推薦入試

入試区分	出願期間(出願登録)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般公募指定校	10月15日(火曜日)～ 11月1日(金曜日)消印有効	11月9日(土曜日)	11月14日(木曜日)	11月27日(水曜日)

AO入試

	エントリー期間(消印有効)
1期	8月26日(月曜日)～9月13日(金曜日)
2期	9月30日(月曜日)～10月9日(水曜日)
3期	11月1日(金曜日)～11月19日(火曜日)
4期	1月6日(月曜日)～1月14日(火曜日)
5期	2月3日(月曜日)～2月14日(金曜日)

※エントリー受付完了後、本学にて随時コミュニケーションを実施。
コミュニケーション終了後、審査結果を通知します。

AO入試 内定者(出願有資格者)のみ

	出願期間(出願登録)	合格発表	入学手続締切日
1期・2期	10月21日(月曜日)～ 11月1日(金曜日)消印有効	11月14日(木曜日)	11月27日(水曜日)
3期	11月25日(月曜日)～ 12月5日(木曜日)消印有効	12月11日(水曜日)	12月25日(水曜日)
4期	1月20日(月曜日)～ 1月30日(木曜日)消印有効	2月10日(月曜日)	2月19日(水曜日)
5期	2月20日(木曜日)～ 2月28日(金曜日)消印有効	3月11日(水曜日)	3月19日(木曜日)

一般入試

入試区分	出願期間(出願登録)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
前期	1日目	1月6日(月曜日)～ 1月17日(金曜日)消印有効	1月26日(日曜日)	2月5日(水曜日)
	2日目	1月6日(月曜日)～ 1月23日(木曜日)消印有効	2月3日(月曜日)	2月10日(月曜日)
	3日目		2月4日(火曜日)	2月11日(水曜日)
後期	2月17日(月曜日)～ 2月27日(木曜日)消印有効	3月5日(木曜日)	3月11日(水曜日)	3月19日(木曜日)

大学入試センター試験利用入試

前期	1月6日(月曜日)～ 1月30日(木曜日)消印有効	本学試験はありません	2月10日(月曜日)	1次:2月19日(水曜日) 2次:3月4日(水曜日)
後期	2月17日(月曜日)～ 2月27日(木曜日)消印有効		3月11日(水曜日)	3月19日(木曜日)

外国人留学生入試

前期	11月18日(月曜日)～ 11月25日(月曜日)消印有効	12月7日(土曜日)	12月11日(水曜日)	12月25日(水曜日)
後期	2月3日(月曜日)～ 2月10日(月曜日)消印有効	2月21日(金曜日)	2月26日(水曜日)	3月11日(水曜日)

編入学試験

前期	11月18日(月曜日)～ 11月25日(月曜日)消印有効	12月7日(土曜日)	12月11日(水曜日)	12月25日(水曜日)
後期	2月3日(月曜日)～ 2月10日(月曜日)消印有効	2月21日(金曜日)	2月26日(水曜日)	3月11日(水曜日)

社会人入試

社会人入試	11月18日(月曜日)～ 11月25日(月曜日)消印有効	12月7日(土曜日)	12月11日(水曜日)	12月25日(水曜日)
-------	---------------------------------	------------	-------------	-------------

入学金・授業料の減額制度・入試日程は大学HPからの抜粋です。詳しくは大学HPをご確認ください。

クラス会やOB会がありましたら、記事を掲載しますので、松稜会事務局へご一報ください。
湘南工科大学松稜会事務局 TEL・FAX 0466-35-0588 E-mail : s.dousou@isis.ocn.ne.jp

編集後記

私が会報の編集を担当させていただいた初めての号が33号だったので、今回の43号でちょうど10部目、10年もお手伝いさせていただいていることになります。毎回、総会に参加いただける方々も若い方が増えてきて、寄稿いただいた記事も非常に興味深いものが多くなりました。松稜会員のつながりの場として今後も注目してください。手法が変わることがあるかもしれませんが、皆様が学んだ大学のことを振り返る場として少しでも長く継続して発信できるよう頑張っていきます。2020年はオリンピックが開催されます。本文中でもご紹介しましたが付属高校の学生で代表になれる子もいそうです。応援しましょう!!がんばれ!ニッポン!がんばれ!松稜(湘工)生!

1997年機械工学科卒業 滝澤 雅